

「平成28年（2016年）熊本地震とESG研究」シンポジウム

主催 公益社団法人日本地震工学会

趣旨

平成28年（2016年）熊本地震（以下、2016年熊本地震）では、熊本全域で大振幅の地震動が観測され、震源近傍では多くの建物被害が発生した。建物被害や大振幅の地震記録の要因解明には、震源及び地下構造の評価が重要であり、多くの研究機関により2016年熊本地震に関する各種調査観測が実施されてきた。そこで本研究委員会（強震動評価のための深部地盤モデル化手法の最適化に関する研究委員会）では、昨年度まで活動した研究委員会（強震動評価のための深部地盤モデル化手法の検証に関わる研究委員会）の成果を引き継ぎ、2016年熊本地震に関する各種調査観測から得られた成果を共有し、今後のESG (Effect of Surface Geology on seismic motion: 表層地質が地震動に及ぼす影響) 研究の発展に寄与することを目的に、2016年熊本地震とESG研究をテーマとしてシンポジウムを開催することとした。

1. 日時：2019年10月21日（月）13時00分～16時30分
2. 場所：東京工業大学田町キャンパス キャンパス・イノベーション・センター（CIC）
1階国際会議室 東京都港区芝浦3-3-6（JR田町駅すぐ）
3. シンポジウムプログラム
 - 13：00～13：10
趣旨説明 松島信一（京都大学）
 - 13：10～13：40
2016年熊本地震の被害と震源近傍地震動の関係 川瀬博（京都大学）
 - 13：40～14：10
益城町の強震観測点における微動アレイ探査によるS波速度構造モデルの推定
地元孝輔（東京工業大学）
 - 14：10～14：40
熊本市の地震動特性 津野靖士（鉄道総合技術研究所）
 - 14：40～14：50 休憩
 - 14：50～15：20
熊本平野における広帯域強震動評価のための浅部・深部統合地盤モデルの構築
先名重樹（防災科学技術研究所）
 - 15：20～15：50
平成28年熊本地震を踏まえた総合的な活断層調査・サブテーマ3「断層帯周辺における強震動予測の高度化のための研究」 岩田知孝（京都大学）
 - 15：50～16：30

総合質疑 佐藤浩章（電力中央研究所）

4. 参加費

正会員・法人会員：6,000円、学生会員・学生：3,000円、非会員：9,000円
（資料代を含む）

5. 定員：70名（先着順）

6. 申し込み方法

(1) 別紙の申込書により、電子メールまたはFaxでお申し込みください。

【申込み、問合せ先】

日本地震工学会事務局

〒108-0014 東京都港区芝5-26-20 建築会館内

電話03-5730-2831、Fax 03-5730-2830

電子メール office@general.jaee.gr.jp

(2) 参加費は、下記にお振込みください。

【お振込先】

銀行口座 三菱 UFJ 銀行 田町支店

普通預金

口座番号：0103167

口座名義：公益社団法人日本地震工学会

（コウエキシャダンハウジンニホンジシンコウガクカイ）

(3) 期限

申込期限：2019年10月10日（木）

振込期限：2019年10月15日（火）